

Birth Bicentenary of
Franz Liszt

Hiromi Shimasaki Mai Takahashi

Piano Duo Concert

※リスト生誕200年記念※

高橋舞 | 鳴崎宏美

ウィーンで出会った二人のピアニストによる
ピアノデュオコンサート

高橋 舞 Mai Takahashi

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。オーストリア国立モーツァルトウム音楽大学大学院修士課程ピアノ演奏科修了、「マギスター・デア・キュンステ」の称号を得る。バッハに関する修士論文は最高の評価を獲得。そのほか同大学院にて1台4手を学ぶ。チェンバロと室内楽をウィーン国立音楽大学にて学ぶ。2005年ザルツブルク・スタインウェイ・ホールにてソロリサイタルを開催。同年イタリア、トリエステにおけるステファノ・マリツァ国際ピアノコンクール第2位入賞。入賞者演奏会の模様はイタリアにてテレビ放映される。2006年のモーツァルト・イヤーにザルツブルガー・ゾリステンとモーツァルトのピアノ協奏曲第12番K.414を共演。フロレンターノ・ロッソマンディ国際ピアノコンクール入賞。2008年3月銀座王子ホールでのピアノリサイタルを皮切りに、ソロ・室内楽・歌曲伴奏の分野で活動。王子ホールでのリサイタルは、「ムジカノーヴァ」、「音楽現代」両誌で高い評価を得る。2008年から続けているレクチャー・コンサートは、毎回評判を呼んでいる。これまでにイタリア、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、クロアチアにおいて演奏会を行う。2009年より桐朋教育研究所主催の桐朋講座にて「広がるクラシック音楽の世界～キーワードから読み解くクラシック～」の講師を務める。2010年には「今日からあなたもクラシック・ファン～クラシック音楽選りすぐり10選～」も開設。校訂・解説を手掛けたバッハの「フーガの技法」が、2010年7月にヤマハミュージックメディアより出版される。 高橋 舞公式サイト www.mai-takahashi.com/



東京公演

チケット販売：
e+ (イープラス)



高知公演

チケット販売：
e+ (イープラス)



鳴崎 宏美 Hiromi Shimasaki

高知市出身。東京音楽大学音楽学部器楽科ピアノ演奏家コース卒業。同大学研究生修了。2002年よりオーストリアに留学。州立グラーツ音楽大学ピアノ科を最優秀で学位取得、ウィーン国立音楽大学室内楽研究科修了。在学中、シュタイヤーマルク州主催マスターコースのオーディションに合格、ヴァイヒェルト氏の公開レッスン生に3年連続選ばれる。その他、数々のマスターコースを受講する。また、オーストリアを中心に日本、ヨーロッパにて演奏活動を行い、中でも、2006年ミュルツツシューラク(オーストリア)で行われた演奏会では地元新聞にて賞賛を得る。2006年よりリオを結成し、室内楽の演奏会も積極的に行う。ソロ、室内楽とともに、伴奏活動も精力的に行い、鈴木ヴァイオリン・オーストリア支部やブライナー音楽院、Dr. C.N.ウォリッシュ教授クラス(リート)の専属伴奏者も務める。2008年帰国。これまでにピアノを大野美寿鈴、播本三恵子、倉沢仁子、山口優、長川晶子、A.デルファブプロ、A.クムジャン、J.クロブフィチュ各氏に師事。室内楽をA.クムジャン、J.マイッスル、チェンバロをK.リーク、リート伴奏法をC.N.ウォリッシュ各氏に師事。現在、高知県を中心に演奏活動を行う傍ら、後進の指導にあたっている。